

第331回9月通常議会 反対討論③「議員派遣」 2015年10月13日  
日本共産党栃木県議団 野村せつ子

議第10号「議員派遣について」に反対する立場から討論します。同議案は、県知事が台湾でおこなう本県食品や観光などのトップセールスに、県議団が同行するもので、自民党3人、公明党1人、民主党無所属クラブ1人の計5人の県議と2人の事務局職員を派遣するものとなっています。2泊3日で予算規模は、2百万～3百万円ほどと思われます。

提出理由として、「知事からの要請」ということがあげられましたが、そもそも、知事のトップセールスに議会が同行する必要性があるのでしょうか。他県ではこのような例はあまり聞きません。行政の仕事は行政に任せればいいのではないのでしょうか。まして所管委員会の所属でもない議員を派遣する必要性は感じられません。

しかも県議会としては、この会期中に、議第8号で、県議の海外行政調査として、シンガポール、マレーシアなどアジア4カ国へ8日間、5人の県議派遣を議決したばかりです。

いま県民は、9月の豪雨災害で大変な思いをしています。300億円近い災害復旧補正予算が計上され、財政的にも大変な状況となるのは火を見るよりも明らかです。そのときにこのように議会が海外派遣を重ねることに、県民の理解が得られるとは到底おもわれません。よって、議第10号に反対します。議員各位の良識あるご判断を訴えて、反対討論いたします。